|  |
| --- |
| **一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会　ニューズレター**  **Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics**  **2018年度　第2号　2019.2.15発行**  **編集　永田　晴子（庶務担当）**  **発行　家族関係学部会事務局** |

＊＊＊＊＊　**INDEX**　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■ 部会長より

■ 第38回家族関係学セミナー報告

■『家族関係学』編集委員会より

■ 家族関係学セミナーの参加資格及び自由報告における共同発表者の会員資格について

■ 第39回家族関係学セミナーのご案内

■ 岡村益先生を偲んで

■ 庶務（会員管理担当）より

■ 会計より

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**部会長より**

**宮坂　靖子（金城学院大学）**

2018年10月13日～14日に鎌倉女子大学で開催されました第38回家族関係学セミナーには、多くの会員の皆様にご参加いただきました。大会実行委員長の大石美佳会員をはじめ、実行委員会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

そのセミナーの総会で承認されました新役員会が立ち上がり、約４ヶ月余りが経過しました。この間、昨年末には『家族関係学』第37号が発刊されました。また、久保桂子編集代表のご尽力により、本部会員の執筆による日本家政学会編『現代家族を読み解く12章』（丸善出版）も刊行されました。こちらは、販路を開拓していくことが求められております。会員の皆様には、授業のテキストとしての採用や大学等の図書館への購入などをご検討いただければ幸いです。また、本書は家族研究者のみならず、中・高の家庭科教員や行政関係者、生活支援にかかわる専門家の方などにも広くご活用いただける内容となっていますので、ぜひ、周りのお知り合いの方にお奨めください。

　第71回日本家政学会大会は、2019年5月24日～26日に徳島県の四国大学で開催されます。皆様と研究についての情報交換ができますことを楽しみにしております。

　暦のうえでは春ですが、三寒四温の季節柄、体調管理には気をつけてまいりましょう。引き続き、本部会の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

**★ ☆ ★　第38回家族関係学セミナー報告　★ ☆ ★**

**大石　美佳（第38回セミナー実行委員長／鎌倉女子大学）**

第38回家族関係学セミナーは、2018年10月13日、14日の２日間にわたって、鎌倉女子大学大船キャンパス（鎌倉市）で開催されました。プログラムは例年通りに第1日目は公開シンポジウム、第2日目に自由報告という構成でした。参加者は計83名で、内訳は一般会員58名、名誉会員5名、学生会員5名のほか、招聘した外部講師2名、公開シンポジウム一般参加ほか13名でした。

第1日目の公開シンポジウムは、　「地域社会における多世代共生の可能性－家族と住まいに焦点を当てて－」と題するテーマのもと、日本家政学会第2期活動助成を得て開催されました。本シンポジウムでは、都市部において増加する空き家、居場所の喪失と社会的孤立などの問題への対応として、多世代共生をコンセプトとする地域社会再生の可能性を探ることを目的としました。第1報告では松本暢子氏（大妻女子大学）が、｢家族の変容と住まい―少子高齢化による住宅需要の変化とまちづくり―」と題し、戦後日本の家族の変化と住宅政策のミスマッチを踏まえ、住宅観念の変革と空き家の活用可能性を論じました。六角薫氏（NPO法人セカンドリーグ神奈川）による第2報告「多世代共生のまちづくりの実践事例―成果と課題―」では、同法人が取り組んだ2事例の紹介をもとに、中間支援組織とコーディネイターの役割について提起されました。小澤千穂子氏（大妻女子大学／会員）は第3報告「家族を超える『支え合い社会』のデザイン―コミュニティにおける居場所づくりから始まるつながりの再構築―」で、世田谷区や文京区の空き家を活用した交流事業を事例として、地域ネットワーク形成の可能性と課題を論じました。司会は、井田瑞江会員(関東学院大学)と藤崎宏子会員(元お茶の水女子大学)が担当され、様々な観点から活発な議論が行われました。シンポジウム終了後は総会が開催されました。引き続いて学内のカフェテリアにて懇親会が開催され、シンポジストの先生方を交えて計43名が集い、親睦を深めました。

第2日目の自由報告は計17報告がありました。以下、タイトル（副題省略）と報告者を記します。第1分科会は「大学生のライフコースとケアに関する意識調査①」（青木加奈子氏）、「大学生のライフコースとケアに関する意識調査」（磯部香氏・李東輝氏）、「大学生のライフコースに関する意識調査」（山根真理氏）、「バリアフリーキャンパスマップの作成」（赤松瑞枝氏 ）、「成年後見人による支援の親密性の検討」（税所真也氏）、「家族や重要他者と死を語ることの重要性」（浦口美穂氏）、「疑似家族の対話による生活設計演習」（小野瀬裕子氏）、「韓国と日本の結婚延期現象にみられる男女差」（金珠賢氏・李秀眞氏）、「『恋愛』への意味づけの変化」（大森美佐氏）、以上9報告、第2分科会は「妻の雇用形態とICT利用、家計に関する意思決定との関連性」（中川まり氏）、「ＩＴ利用と子育てにおけるジェンダー」（佐野潤子氏）、「子どもの生活習慣とICT利用、親子の共同行為」（黒川衣代氏・坂本有芳氏・木村直子氏）、「育児期の親のITを通じたコミュニケーションと世代間関係」（大風薫氏）、「インタビュー調査にみる高度経済成長期を過ごした女性たちの家事・育児意識」（斧出節子氏・馬場まみ氏・新矢昌昭氏）、「保活における夫婦間の意思決定」（尾曲美香氏）、「社会的養護の前段階にある家庭を支える夜間保育」（矢野裕子氏）、「ひとり親家庭の児童への学習支援サービスのあり方について」（三沢徳枝氏）、以上8報告でした。座長は杉井潤子会員（京都教育大学）、平野順子会員（東京家政大学）、永田晴子会員（大妻女子大学）、中谷奈津子会員（神戸大学）にお世話になりました。演題数も多く、活発な質疑とともに有意義な時間となりました。

皆さまのご協力を賜り、充実したセミナーになりましたこと、心よりお礼を申し上げます。

第38回家族関係学セミナー実行委員会

井田瑞江、井上清美、小澤千穂子、中川まり、中西泰子、藤崎宏子、吉原千賀、大石美佳

**☆ ★ ☆　『家族関係学』　編集委員会より　★ ☆ ★**

**杉井　潤子（編集委員長／京都教育大学）**

○**『家族関係学』投稿論文の募集**

『家族関係学』No.38への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。

投稿締め切りは**2019年3月31日（日）必着〈消印有効〉**となります。必ず書留の郵便（簡易書留）、レターパックプラスまたは宅配便で送付願います。受領の確認できない普通郵便、レターパックライト、メール便、電子メールまたは持参等による応募は受付できませんので、ご注意願います。

また、今期から「投稿申込表紙」を添付していただくようにしました。部会ホームページから所定の書式をダウンロードして、すべての項目にチェックのうえ原稿とともにご送付ください。

（１）投稿先は以下の通りです。

|  |
| --- |
| 〒612-8522　京都市伏見区深草藤森町１　京都教育大学　家政科気付  家族関係学編集委員会　杉井　潤子　宛　Tel　＆　Fax：075-644-8317  問い合わせ先　　E-mail：sugii★kyokyo-u.ac.jp  ★を＠に置き換えてください |

（２）投稿規定および執筆要項は、部会ホームページで最新の情報をご確認ください。とくに、分量オーバーの投稿原稿は受理できない場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

**〇書評・文献紹介の対象となる図書情報の募集**

書評・文献紹介の対象となるご著書等の情報を、ぜひお知らせください。2018年5月1日から2019年4月30日までの間に刊行され、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象とします。自薦、他薦いずれも歓迎します。

以下の宛先まで、書誌情報【著者名・編者名、書名、発行年月日、発行所、税込価格、ISBN、執筆部会員名】をE-mailでご連絡いただければ幸いです。

締め切りは、2019年5月2日（木）です。

|  |
| --- |
| 〈新刊図書情報の連絡先〉  〒333-0831　埼玉県川口市木曽呂1511　川口短期大学　井上　清美　宛  [E-mail：ki.inoue★kawaguchi.ac.jp](mailto:E-mail%20:%20yoshihara@takachiho.ac.jp)  Tel：048-294-1963　Fax：048-294-3755  ★を＠に置き換えてください |

**★ ☆ ★　　家族関係学セミナーの参加資格及び自由報告における**

**共同発表者の会員資格について ★ ☆ ★**

**宮坂　靖子（部会長／金城学院大学）**

昨年度よりお知らせしてまいりましたが、近年、セミナーに大学院生や社会人などの非会員の方の参加が増え、共同研究が増加してまいりました。家族関係学部会では、2017年10月の総会において下記の４点が承認されております。今年度のセミナー参加についても、部会員か否かに関わらず、多くの方にご検討いただきますようお願い申し上げます。なお、セミナーに関する詳細なお知らせは、6月に配信予定です。

○家族関係学セミナーの参加者資格は部会員に限定しない。

○非会員がセミナーに参加する場合は当日参加費を徴収する。また、セミナー受付に入会届を用意して、非会員の入会を促す。

○自由報告の発表者については、第一発表者は部会員に限るが、共同発表者は非会員も可とする。

○非会員の共同発表費は3,000円とする。

**★ ☆ ★　第39回家族関係学セミナーのご案内　☆ ★ ☆**

**中谷　奈津子（第39回セミナー実行委員長／神戸大学）**

第39回セミナーは神戸市灘区にあります神戸大学にて開催いたします。神戸は、日本を代表する港町であり、早くから海外のものを取り入れ、外国文化が花開いた地としても有名です。神戸大学の近隣には、北野異人館、中華街、メリケンパークなども点在しており、学会参加とともに、異国情緒を感じていただく機会となれば幸いです。セミナー参加、自由報告募集のご案内は、5月を予定しております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日　程：2019年10月12日（土）～13日（日）

会　場：神戸大学（六甲台地区：キャンパスの詳細は未定）/神戸市灘区鶴甲

アクセス：阪神御影駅、JR六甲道駅、阪急六甲駅のいずれかで下車し、市バスに乗車

（JR新大阪駅から約50分、JR新神戸駅から約40分）

タクシー利用の場合：JR新神戸駅から約20分

**＝＝　訃報　＝＝＝**

本部会の名誉会員であられる岡村益先生が、2018年１月21日にご逝去されました。享年99歳。家族関係学のみならず家政学、家庭科教育の発展にご尽力され、数々のご業績を残されました故岡村益先生に、会員の皆様と共に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

　故岡村益先生のご生前にご親交の深かった名誉会員の中間美砂子先生より、追悼文をお寄せいただきました。（部会長　宮坂靖子）

■■■　**岡村益先生を偲んで　■■■**

中間美砂子（元部会長／元千葉大学教授**）**

　最近、しきりに、岡村益先生にお会いしたいなと思っていた矢先の訃報です。びっくりいたしました。先生には、早くより家族関係学部会、日本家政学会、日本家庭科教育学会などでいつもお会いしていましたが、親しくお話しいただくようになったのは、日本家族社会学会セミナーの宿泊研修で同室になった時以来です。研究に対しては、とても真摯で、厳しい姿勢をお持ちでしたが、後輩に対しては、良い助言を与えてくださる、温かいお人柄でした。

　先生は、1940年、東京女子高等師範学校をご卒業になっており、その後、教育、研究で多くの足跡を残されてきました。

　まず、教育面で特筆すべきこととしては、ＩＦＥＬ（The institute for educational leadership）との関わりです。ＩＦＥＬとは、当時の教育界のトップリーダー対象のCIE（GHQの一部局である民間情報教育局）による講習会で、第三期の京都大会（1949）において、高等学校家庭科の理論や方法についてのワークショップが行われました。そこでは、 特に「家族関係の授業」などが取り上げられました。「家族関係学」、「家族関係教育」の始まりはここにあるといっても過言ではありません。先生は、このＩＦＥＬに参加された、数少ない貴重な人材で、その実績から、家庭科の指導主事対象の講座などを通して、新しい家庭科の創設に大きくかかわられました。

その後、『現代家族関係学』（田村健二・岡村益編、高文堂、1970）などの著書を次々と発行され、家族関係学の構築に尽くされるとともに、「家族関係学部会」の創設にも尽力され、家族関係学部会の発展に大きくかかわってこられました。その貢献に対して、家族関係学部会の名誉会員の称号も得ていらっしゃいます。

　研究面では、1960年以来、フィールドワークに基づく、貴重な研究「阿武隈山地の隠居慣行」（『社会学評論』18-2、1967）を挙げることができます。この研究を基盤に、さらに多くの研究が積み重ねられ、その成果としての「東北農家における老親子関係の研究」に対して､昭和51（1976）年度日本家政学会賞が授与されました。以上のような教育、研究両面への貢献に対して、1981年に叙勲も受けていらっしゃいます。

　福島大学、上越教育大学でご活躍後は、郷里の大学等で非常勤をなさっていたとお聞きしています。謡や短歌などへの造詣も深く、豊かな老後をお過ごしになったことでしょう。

　家族関係学部会にとって、ひとかたならぬご貢献を賜った岡村益先生、ここに先生の偉業を改めてお偲びするとともに、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

**★ ☆ ★ 庶務（会員管理担当）より ★ ☆ ★**

**大石　美佳（庶務／鎌倉女子大学）**

〇ご住所・ご所属の変更、入退会のご希望については、下記までご連絡ください。

〇2017年度から学生会員の年会費が減額されております。会員区分に変動があった場合は、（たとえば、学生会員から正会員へ）お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〇情報提供のお願い

連絡先不明：　陳　鳳　・　内藤　直子　・　李　多嬌（敬称略）

※連絡先の情報をお持ちの方はご連絡ください。

〇バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号（18冊）、31号（８冊）、32号（９冊）、33号（７冊）、34号（18冊）、35号（24冊）です。１冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年７月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

|  |
| --- |
| 連絡先：鎌倉女子大学　大石美佳  〒247-8512　鎌倉市大船6-1-3　 Tel：0467-44-2111（代表） Fax：0467-44-7131  E-mail：[inquiry★kazokukankeigaku.jp](mailto:inquiry@kazokukankeigaku.jp)（家族関係学部会事務局）  ★を＠に置き換えてください |

**★ ☆ ★　会計より　☆ ★ ☆**

**李　璟媛（会計／岡山大学）**

2018年度および過年度の年会費を未納の方には、すでに連絡をしております。２月28日(木) までにお振り込みください。会計の都合上、期日厳守でお願いいたします。

また、学生会員の年会費が2017年度より減額となっております（正会員4,000円、学生会員2,000円）。2019年度に学生会員として入金を希望される方は、学生証の写しを下記までお送りください。郵送、画像のメール添付などいずれの方法でもかまいません。提出期限は2019年４月１日から５月31日とさせていただきます。なお、学生会員の場合は２年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

|  |
| --- |
| 年会費振り込み先：（郵便振替）００３１０−６−３０２２９ 家族関係学部会  連絡先：岡山大学　李　璟媛 〒700-8530　 岡山市北区津島中3-1-1　岡山大学教育学部  Tel：086-251-7678　　E-mail：[leekw★okayama-u.ac.jp](mailto:ki.inoue@kawaguchi.ac.jp)  ★を＠に置き換えてください |

❀＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋❀

＜家族関係学部会事務局＞　　　　　〒247-8512　鎌倉市大船6-1-3　鎌倉女子大学　大石美佳

Tel：0467-44-2111（代表） Fax：0467-44-7131

E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局）

　 メールマガジン配信アドレス：info★kazokukankeigaku.jp　　★を＠に置き換えてください

　 家族関係学部会ホームページのURL： http://kazokukankeigaku.jp

❀＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋❀